



【先週 1月5日～1月11日の外食の出来事】

■すしざんまい社長、マグロ初競り1・9億円超で落札

豊洲市場で5日、元号が令和となって最初の初競りが行われた。注目のクロマグロは、青森・大間漁港から届いた重さ276キロのクロマグロ。1キロ当たり70万円の値で落とされ、1体での総価格では1億9320万円だった。

■幸楽苑、51店舗を閉店へ 水害の経験踏まえ収益力を強化 人手不足にも対応

ラーメン店「幸楽苑」は、51店舗を閉店・業態転換。「収益重視型経営への改革の一環」。51店舗は店舗数の約1割に当たります。12月に計30店舗、1月に7店舗、2月に12店舗、3月に1店舗、4月に1店舗を閉店する計画です。

■銚子丸、上半期(2019年5月16日～11月15日)の業績 増収増益

2020年5月期 第2四半期の業績は売上高97億1400万円(対前年同期比5.2%増)、営業利益2億5200万円(同12.0%増)、経常利益2億8700万円(同17.8%増)、四半期純利益1億4500万円(同9.2%増)と増収増益。

■ハイディ日高、第3四半期(2019年3月～11月)の業績 増収減益

2020年2月期 第2四半期の業績は売上高314億2100万円(対前年同期比0.1%増)、営業利益30億6500万円(同16.3%減)、経常利益30億5600万円(同16.0%減)、四半期純利益19億3100万円(同20.0%減)であった。

■すた井、FCで中国1号店 米国、タイに次ぎ海外3ヶ国目

「伝説のすた井屋」を運営する株式会社アントワークスが、中国企業の ZHEJIANG BODUO INTERNATIONAL TRADE CO.,LTD らと、1号店となるリダショッピングモール店を青島市ロウ山区リダショッピングモール内に出店。

■ふるさと納税返礼品でトラブルとなっていた小野瀬フーズ、破産開始

(株)小野瀬フーズは、7日に東京地裁より破産手続き開始決定を受けた。回転寿司の「すし勢」、和風レストランの「ごほう」「晤寶」、「かつ萬」などを展開し、2003年7月期には年売上高約17億5600万円を計上していた。

■サイゼリヤ、19年9～11月期純利益2%増 海外好調

2019年9～11月期連結決算は、純利益が前年同期比2%増の13億円だった。営業外収益に円高による為替差益や、オーストラリアの工場にかかる保険金収入を計上した。上海やシンガポールなど海外店も好調だった。

■あみやき亭、第3四半期(2019年4月～12月)の連結業績 増収減益

2020年3月期 第3四半期の連結業績は売上高239億7800万円(対前年同期比0.4%増)、営業利益14億9900万円(同28.2%減)、経常利益15億5400万円(同27.9%減)、四半期純利益8億7900万円(同34.7%減)。

■婚活応援酒場「相席屋」、シンガポールに合弁会社

株式会社セクションエイトが展開する婚活応援酒場「相席屋」の海外展開に伴い、シンガポール企業と合弁会社、Aisekiya International Private Limited を設立する。東南アジア地域への展開を進める。